

患者向け説明書：腸チフスワクチン この説明書は、腸チフスワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

腸チフスとは

- **原因**: 腸チフス菌 (*Salmonella Typhi*) による感染症。
- **感染経路**: 汚染された水や食べ物を摂取することで感染します。
- **症状**: 発熱、頭痛、倦怠感、腹痛、下痢または便秘、発疹など。
- **重症度**: 治療が遅れると腸穿孔や敗血症を起こし、生命に関わることがあります。

ワクチンの特徴

- **種類**: 精製 Vi 多糖体腸チフスワクチン (商品名: タイフィム ブイアイなど)。
- **接種方法**: 筋肉注射または皮下注射。
- **対象年齢**: 通常 **2 歳以上** が対象。
- **効果**: 接種後 2~3 週間で免疫が得られ、約 3 年間持続します。

接種スケジュール

- **初回接種**: 1 回 (0.5mL)。
- **追加接種**: 前回接種から **3 年以上経過した場合に再接種** が推奨されます。
- 海外渡航者は渡航の少なくとも 2 週間前までに接種してください。

副反応について

- **よくある副反応**: 注射部位の発赤、腫れ、痛み。
- **全身反応**: 発熱、倦怠感、頭痛。
- **まれな副反応**: 強いアレルギー反応 (アナフィラキシー)。

接種が推奨される方

- 腸チフス流行地域 (南アジア、東南アジア、アフリカ、中南米など) へ渡航する方。
- 医療従事者や長期滞在者。
- 腸チフスに感染するリスクが高い環境に滞在する方。

接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 過去にワクチンで強い副反応があった場合は必ず医師に伝えてください。
- 妊娠中の方は、感染リスクとワクチンの有益性を医師と相談してください。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 注射部位の腫れや痛みは数日で改善することが多いです。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

まとめ

腸チフスは**発展途上国で依然として流行している感染症**であり、渡航者にとって大きなリスクとなります。ワクチン接種は安全性が高く、**渡航前に 1 回接種**することで数年間予防効果が

得られません。流行地域へ行く予定がある方は、必ず医師に相談し、計画的に接種を受けましょう。

この説明書は一般的な情報です。**詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。**

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。